

学校
だより

とうえい

第24-11号
平成25年3月5日
尾張旭市立東栄小学校

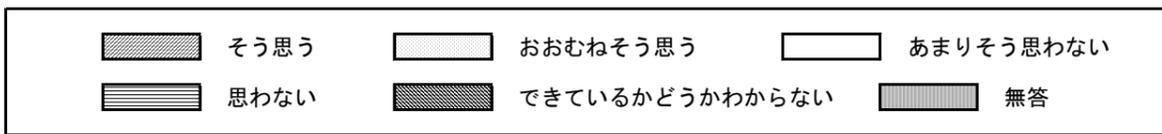
弥生3月、日に日に春の日差しが暖かさを感じさせてくれます。学校では、締めくくりの3学期もゴールが近づいてきました。1日（金）には「6年生を送る会」が開かれ、どの学年もすばらしい発表を見せてくれました。1年間の成長のあとがしっかりうかがえる会となりました。

さて、2月に実施しました「学校評価アンケート」のまとめができました。同じ項目の質問内容を「教職員・保護者・児童」と重ねて表記してみました。ご覧ください。

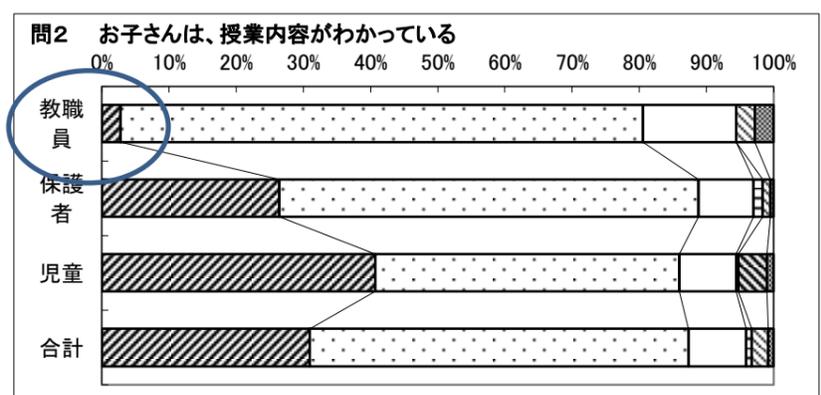
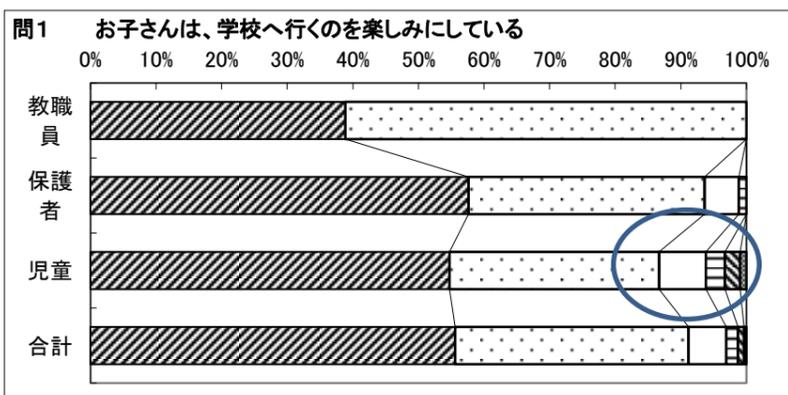
お忙しい中でのご協力、誠にありがとうございました。結果をもとに、次年度の学校運営に生かしていきます。

平成24年度学校評価アンケート結果（教職員・保護者・児童）

尾張旭市立東栄小学校

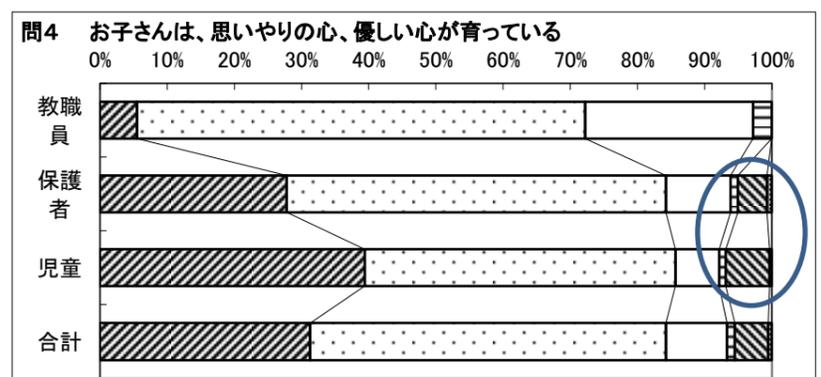
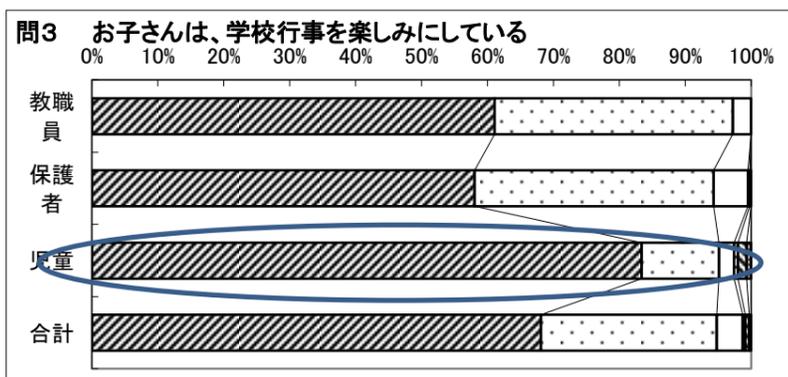


保護者アンケート回収率97.8%でした。
児童は4年生以上を対象に実施



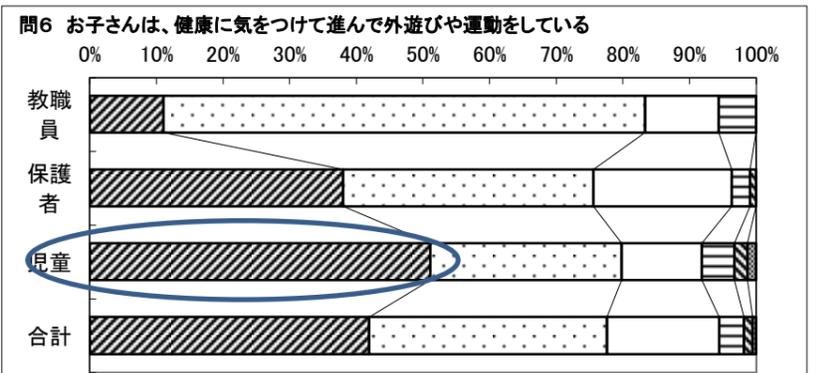
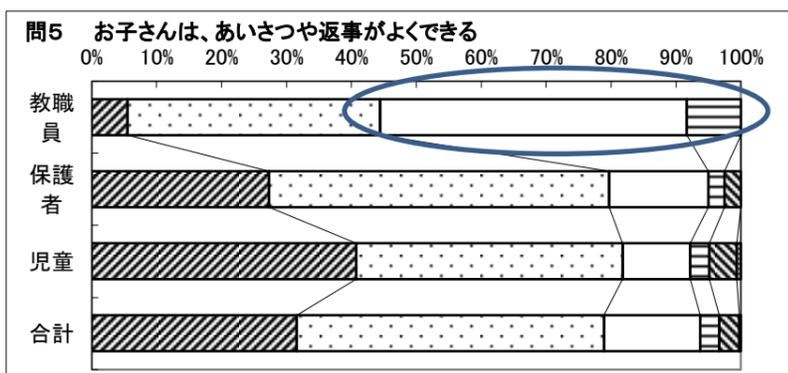
教職員、保護者ともおおむね子どもたちが楽しく学校へきていると考えているが、子どもの調査から「楽しくない」と考えている割合が多くなっている。ふれあいタイム等を活用して、「子どもの悩み」等に細かく対応していきたい。

「理解できている」と多く答えたのは、子どもたちであった。教職員は「おおむね出来ている」が多く、自信を持って答えられるように、教材研究につとめ指導にあたりたい。



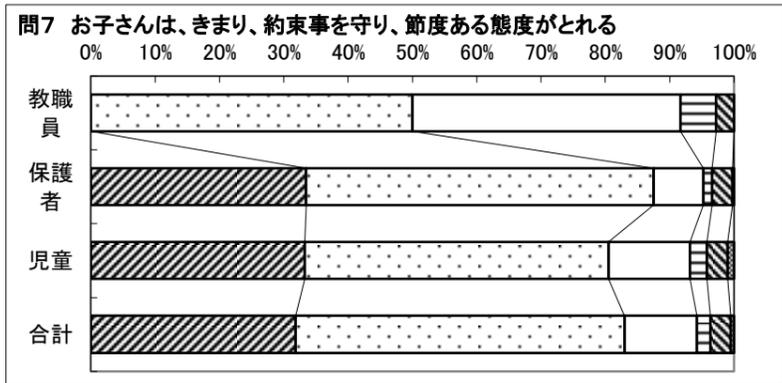
児童が「学校行事」を楽しみにしていることがよくわかる結果となった。昨年度の「ゲームワールド」では、欠席者0であったことがあった。より充実した学校行事にしていきたい。

教職員は、まだ十分ではないと考えている。保護者・児童は思いやり・優しい心が育っていると考えられる割合が増えている。保護者・児童とも「わからない」を選択している割合も増えている。

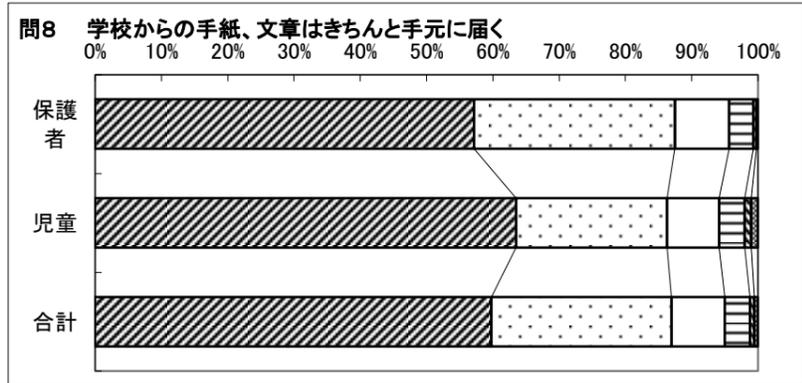


教職員の半数以上が「そう思わない、思わない」を選択している。当たり前のことがきちんと出来るように教師自ら率先して取り組みたい。

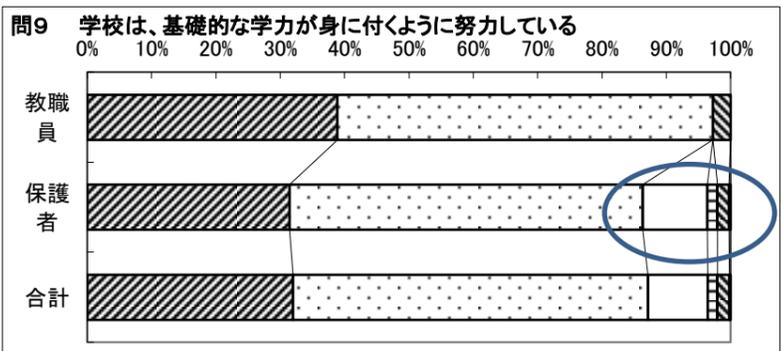
教職員の評価は厳しいが、「そう思う、おおむね」を合わせた数字は、保護者、児童の合計より多くなっている。児童は、5割の子が「している」と答えている。



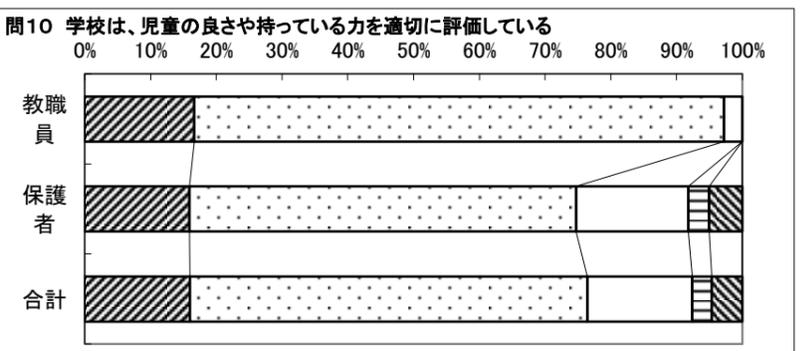
教職員が「そう思う」と答えた割合が0%であった。人権アンケートでもあったが、規範意識をはぐくむ指導を考えていかなければならない。



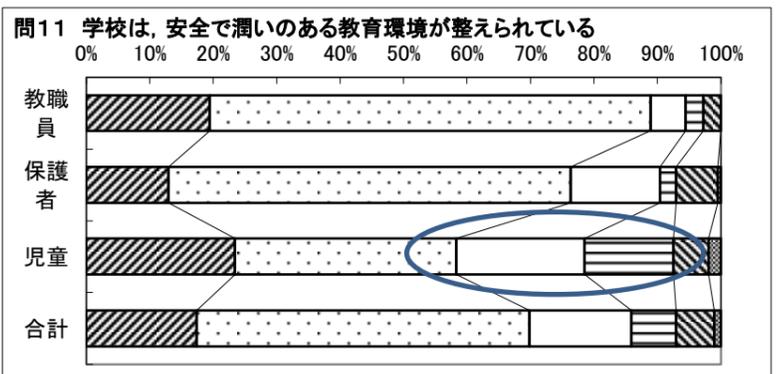
この質問は、保護者・児童を対象に実施しました。おおむね良好である。



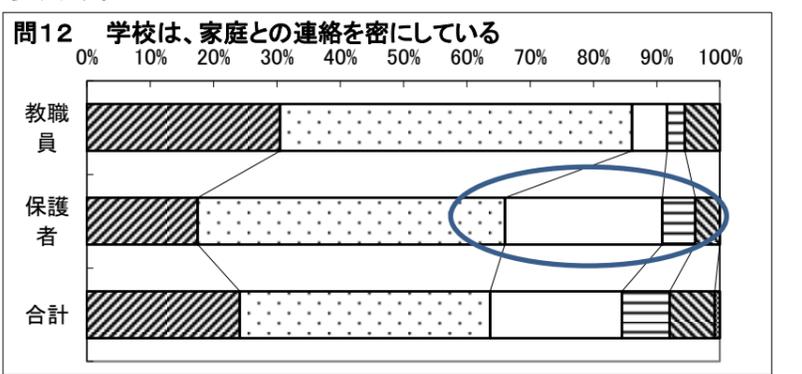
教職員は、「努力している」という評価をしているが、保護者の中に「まだまだ」と考えている方もある。



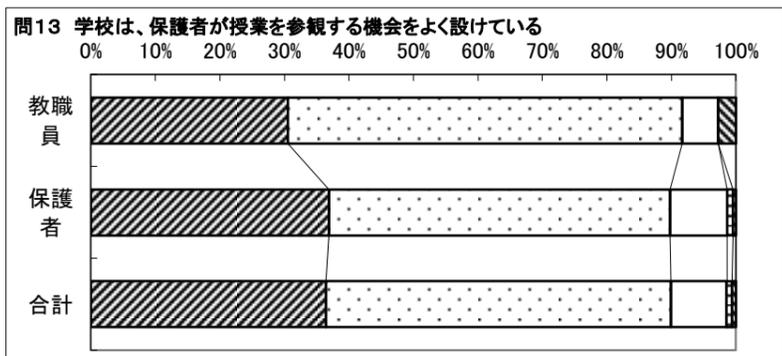
子どもの良い点を認め、褒めて伸ばすことをすすめています。さらに研修を積んで保護者の方々にも満足していただけるように努力して参ります。



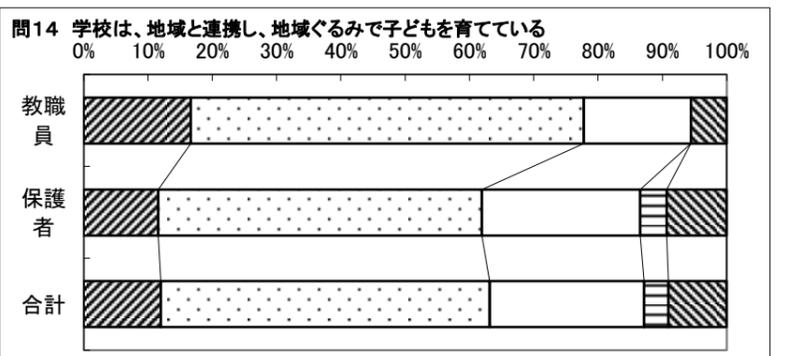
児童が「不十分」と回答している割合が多い。施設は古いけれど、日常の清掃活動でさっぱりしていきたいですね。



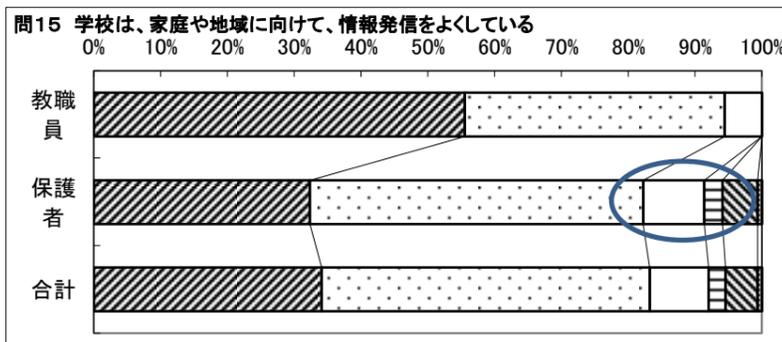
保護者の方は、「まだ不十分」と捕らえている割合が多くある。



そう思う、おおむねそう思うを含めると教職員、保護者とも9割の方が授業参観の機会は妥当であると考えている。公開授業の質をさらに高めていけるように研修していきたい。



学校は、地域の方に外部講師をお願いしたり、ボランティアの方々の協力を得て、教育活動をしています。また、社会教育主催の夏の盆踊り、正月の書初め大会、どんど焼き等に行事もあります。今後も皆様のご協力をお願いいたします。



学校だより、学年だより、HP、緊急メール等で家庭や地域に向けて情報を発信しています。保護者からは、「まだ十分でない」と考えている方が15%程度を占めています。昨年4月より、東栄小学校のHPをリニューアルして「東栄小学校の今」を休まず発信して参りました。まもなくアクセス数も10万件を超えようとしています。今後も内容を充実させ、学校の様子等を発信していきます。

